

多くの要望に応えForce barシリーズに
スイッチ付電源タップが登場。

Force barR3P



100V (定格 125V)	50/60Hz	1500VA	2口	1口
入出力対応電圧	入出力対応周波数	出力容量	出力コンセント	連結コンセント

Force barR3P [フォースバーR3P]

標準価格 19,600円 (税別)

JANコード 4573430050922

交流出力 ■出力接続方法：コンセント2口(3P) / 連結コンセント1口(IEC60320 C13)
交流入力 ■入力接続方法：インレット1口(IEC60320 C14)
その他 ■外形寸法：W56×H35×D233[mm] (連結コンセント含む)

■出力相数：単相2線アース付き ■出力周波数：50 / 60Hz ■出力容量：1500VA ■出力電圧：AC100V(定格 AC125V)
■入力相数：単相2線アース付き ■入力周波数：50 / 60Hz ■入力容量：1500VA ■入力電圧：AC100V(定格 AC125V)
■重量：約 560g ■冷却方法：自然空冷 ■周囲温度：0 ~ 40℃ ■相対湿度：10 ~ 95% (結露なきこと)

好評のForce barシリーズにスイッチ搭載モデル登場!

従来のForce barシリーズの性能をそのままに利便性を取り入れたスイッチ付き電源タップ。ハイエンドオーディオは勿論のこと、PCオーディオ、ネットワークオーディオに対し有効活用が可能です。

Force barR3Pの後段にForce bar3Pや3.1、6.1を連結することで、たちまち電源スイッチに連動したコンセント数を増やすことができます。

また、Force barR3Pの前段に3Pを連結することで、今度はR3Pの電源スイッチに左右されない出力コンセントと、スイッチに連動した出力コンセントに系統分けすることが可能になります。スイッチ部分には音質劣化を防ぐため、特殊ハンダを採用するなどKOJO TECHNOLOGYのノウハウが盛り込まれ、コストパフォーマンスが高い製品となっています

「M.I.S.」構造を採用

これまでのForce bar同様、定評ある「M.I.S.：メカニカルアイソレーションシステム」構造を採用。インレットから出力コンセント・内部配線・アース端子にいたる、すべての電気・電子パーツをサブシャーシに搭載し、外装ケースから独立させることで不要振動からの影響を抑制します。更に床からの振動を直接受けるボトムシャーシには、衝撃・振動吸収性に優れ、外力を受けてもほとんど反発せずにエネルギー吸収するハネナイト(内外ゴム製)を採用。低周波振動に対しても高いポテンシャルを誇ります。また、コンセントは外装ケースよりもわずかに持ち上げてマウント。外装ケースと電源プラグの間に1mm以下の隙間を作ることで、細部にまで拘った振動対策構造となっています。これにより、同クラスの電源タップでは得られない、S/Nの向上、堀の深い明瞭感たっぷりのサウンドをお楽しみいただけます。

※Force barシリーズには全て「M.I.S.」構造を採用しており、トップシャーシ、サブシャーシ、ボトムシャーシの3つの機構で構成されています。「M.I.S.」はオーディオ機器にとって重要視される振動対策を、電源タップ内部に取り入れた画期的構造です。

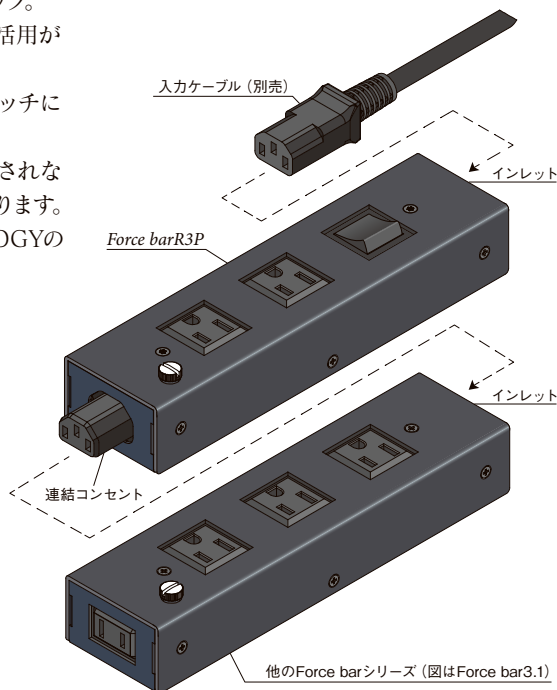
他社製品との連結

他のForce barシリーズはもちろんのこと、他社製品との連結も可能です。オーディオ用として一般的に販売されている多くの電源タップは、その入力(インレット)がIEC60320 C14という国際規格に準じています。

Force bar M1P/DP2/3P/S1P/H1P/L1Pには、同インレットに対応するC13(連結コンセント)が使用されていることから、他社製電源タップとの連結が可能です。他社製品との連結は、現在使用している電源タップを買い換えることなくそのまま利用でき、無用な出費を抑えてくれる他、不用意な音質変化を伴わず合理的です。

- 1) 他社製品との連結の際、インレットの取付方向が違う場合があります。ご確認の上ご購入下さい。
- 2) 他社製品との連結の際、インレットと連結コンセントの取付高さ位置が違う場合があります。オーディオボード、インシュレータ等で調整してご使用ください。(無理な連結はコンタクト部分の破損を招く恐れがあります)

写真はForce bar L1PとForce bar 3Pの連結



ナチュラルピュアリファイサウンド

KOJO TECHNOLOGYがモットーとするナチュラルピュアリファイサウンド。着色しない素直な音色とするため、特殊素材や特殊メッキは敢えて使用せず、汎用性高い素材を積極的に採用しました。その一方で、接続される機器が本来保有しているポテンシャルを十分に引き出すため、独自の振動抑制 (M.I.S.) 構造や単芯配線構造を採用。素材に大きく頼らず、構造的考案で同クラスの電源タップでは見いだせない、素直でありながらエネルギー、ワイドレンジかつ高解像度な電源タップに仕上げました。

まさにハイコストパフォーマンス

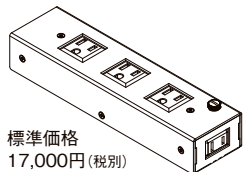
異分野含め多くのOEM供給を手掛けるKOJO TECHNOLOGYは、そこからコスト削減に関する手法、ノウハウの多くを学びました。吟味されたパーツ選定と生産性の向上を意識した部品構造やメカニカル構造は、Force barシリーズの低コスト化に大きく貢献しています。振動対策を電源タップ内の機構に取り入れた「M.I.S」構造や、ユニークな連結機能などは他に類をみません。Force barシリーズは、高機能を備えながらも業界トップクラスの低価格製品です。これから始めようとする電源タップの入門者はもちろんのこと、幅広いユーザー層にまでに適応するハイコストパフォーマンス製品です。

Force bar (5ELEMENTS) 製品ラインアップ

Force barシリーズは、5つのカテゴリで電源環境を整える構成となっています。個々のオーディオシステムに合わせ、最適な電源タップシステムの構築が可能です。

• Force bar3.1 Basic Model 2014.2発売

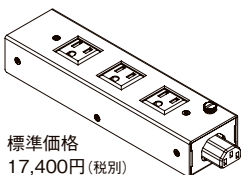
3Pコンセント3口+2Pコンセント1口のベーシックタイプです。



標準価格
17,000円(税別)

• Force bar3P 増やす/分配する 2014.10発売

3Pコンセント3口+連結コンセント1口の連結型電源タップです。他の電源タップと連結してコンセント数の増設が可能です。



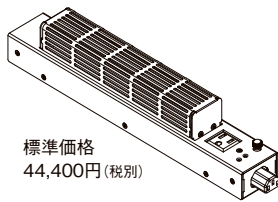
標準価格
17,400円(税別)

• Force barH1P 洗う 2015.8発売

交流に含まれる直流(DC)成分を減衰させ、トランスの唸りを抑えるハムイレーザ機能を搭載。3P出力コンセント1口と連結コンセント1口の連結型電源タップです。



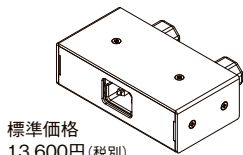
※DC成分以外が原因のトランスの唸りは抑制できません。



標準価格
44,400円(税別)

• Force barDP2 増やす/分配する 2016.3発売

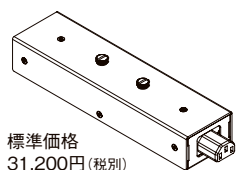
1系統の入力から2系統への分岐を可能にした分岐型電源タップです。Force barシリーズの拡張性を高めるキーデバイスです。



標準価格
13,600円(税別)

• Force barEP 接地する 2016.12発売

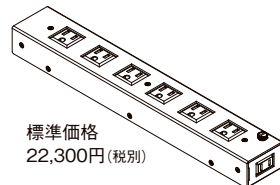
連結タップ機能を備えたバーチャル・リアリティ・アースです。ノイズフロアの低減で音質をアップさせます。



標準価格
31,200円(税別)

• Force bar6.1 Basic Model 2014.5発売

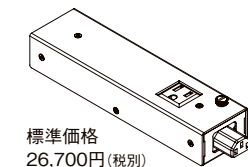
3Pコンセント6口+2Pコンセント1口のベーシックタイプです。より多くの電気・電子機器を接続することができます。



標準価格
22,300円(税別)

• Force barS1P 守る 洗う 2014.12発売

サージアブソーバとノイズフィルタを内蔵し、3P出力コンセント1口と連結コンセント1口の連結型電源タップです。



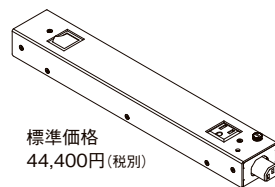
標準価格
26,700円(税別)

• Force barL1P 守る 2015.12発売

接続機器起動時の突入電流を抑制し、機器をダメージから守るソフトスタート機能を搭載。3P出力コンセント1口と連結コンセント1口を備えた連結型電源タップです。



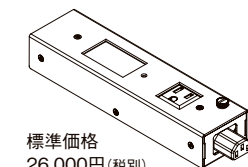
※全ての接続機器について本機の性能を満足できるものではありません。詳しくは販売店またはメーカー窓口へご相談下さい。



標準価格
44,400円(税別)

• Force barM1P 観る/見張る 2016.4発売

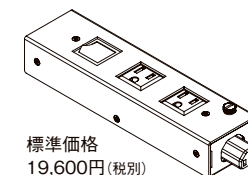
電圧、電流、消費電力、電力量を一括表示する、業界初モニター機能を搭載。3P出力コンセント1口と連結コンセント1口を備えた連結型電源タップです。



標準価格
26,000円(税別)

• Force barR3P 増やす/分配する 2018.10発売

Force bar3PをベースにON/OFFスイッチを搭載した、3Pコンセント2口+連結コンセント1口の連結型電源タップです。



標準価格
19,600円(税別)



WEBサイト

KOJO TECHNOLOGYシリーズの詳しい情報や開発ブログ、Q&A、お客様の声などコンテンツが満載。

※画像はイメージです。予告なく変更する場合があります。

<http://kojo-seiko.co.jp>

KOJO



製品に関するお問い合わせはこちら

株式会社 光城精工 電源事業部

Eメール
アドレス

info@kojo-seiko.co.jp

テレフォン

0172-43-0050

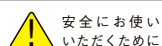
受付時間 (祝日を除く月～金/9:00～17:00)

※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。
※おかけ間違いのないようご注意ください。



〒036-0164
青森県平川市松崎西田43-4
Tel.0172-43-0050

KOJO TECHNOLOGY



安全にお使い
いただくために

●ご使用前に取り扱い説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
●表示された正しい電源・電圧でお使いください。

●お求めは信用のある当店で